

各位

上場会社名 株式会社 コモンウェルス・エンターテインメント  
 代表者 代表取締役社長 柳田 隆仁  
 (コード番号 7612)  
 問合せ先責任者 取締役 塚田 英智  
 (TEL 03-3568-5020)

## 特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

この度当社において下記の通り特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成25年5月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	730	△120	△120	△120	△3.13
今回修正予想(B)	1,050	△97	△97	△166	△4.34
増減額(B-A)	320	23	23	△46	
増減率(%)	43.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	887	△91	△91	△72	△1.88

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,100	△200	△200	△200	△5.23
今回修正予想(B)	1,300	△165	△165	△235	△6.14
増減額(B-A)	200	35	35	△35	
増減率(%)	18.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,391	△220	△220	△267	△7.00

修正の理由

#### 1. 特別損失発生理由

当社は継続企業の前提の注記の解消に向けて構造改革途中であり、現在の当社に見合った体制構築を図るべく以下の特別損失が発生いたします。

##### (1) 特別退職金

ここ数年間の業績不振、当期においても利益確保が困難な状況にあり、財務面でも厳しい状況が継続していることで、将来的な退職金債務を負担することが困難であるとの判断から、従業員退職金制度を廃止することとしました。これに伴う退職金を精算するにあたっての特別退職金5百万円を計上いたします。

##### (2) 本社移転費用

経費削減と効率的な業務運営を図るため第2四半期累計期間までに、引越費用1百万円、原状回復費用8百万円、移転に伴い利用不能となる本社建物附属設備等について耐用年数を移転予定月までの期間に見直したことによる減価償却費増加24百万円、移転前の本社定期賃貸借契約の中途解約違約金について保証金充当による損失見込繰入額29百万円の合計63百万円を計上いたします。

#### 2. 第2四半期累計期間業績予想数値の修正理由

##### (1) 売上高

コンテンツ事業につきましては、著作権仲介ビジネスの一環である映像コンテンツの企画及び制作等の周辺事業に注力しておりますが、見込んでいた受注規模獲得までには至らず当初予想値110百万円から18.2%減の90百万円となる見込みです。アミューズメント事業につきましては、7月度にメーカーよりビックタイトルが販売されることによりアミューズメント施設用メダルゲーム機への転用事業が想定以上に好調で当初予想値620百万円から54.8%増の960百万円となる見込みです。

##### (2) 営業利益、経常利益及び当期純利益

営業利益につきましては、コンテンツ事業では売上高は減収となるものの、収益率の改善により当初予想値△26百万円から△18百万円となる見込みです。アミューズメント事業につきましては、売上高増収により当初予想値24百万円から7.8%増の41百万円となる見込みです。総務部門等管理本部に係る間接経費につきましては、ほぼ当初予想値通りの120百万円となる見込みです。

その結果、当社全体といたしましては営業利益、経常利益はそれぞれ当初予想値120百万円の営業損失から97百万円の営業損失、120百万円の経常損失から97百万円の経常損失となる見込みです。四半期純利益につきましては、特別退職金5百万円、本社移転費用63百万円の計上により当初予想値120百万円の四半期純損失から166百万円の四半期純損失となる見込みです。

### 3. 通期業績予想数値の修正の理由

#### (1) 売上高

コンテンツ事業につきましては、著作権仲介ビジネスの一環である映像コンテンツの企画及び制作等の周辺事業においては更なる受注規模減少の見込みであり当初予想値200百万円から50.0%減の100百万円となる見込みです。アミューズメント事業につきましては、アミューズメント施設用メダルゲーム機への転用事業を中心に上期での増収見込みであることにより当初予想値900百万円から33.3%増の1,200百万円となる見込みです。

#### (2) 営業利益、経常利益及び当期純利益

営業利益につきましては、コンテンツ事業では売上高の大幅な減収となるものの、収益率の改善と販売費及び一般管理費の削減により当初予想値△25百万円から△27百万円と若干の減益にとどまる見込みです。アミューズメント事業につきましては、売上高増収により当初予想値37百万円から56.8%増の58百万円となる見込みです。総務部門等管理本部に係る間接経費につきましては事務所家賃等の販売費及び一般管理費の削減効果により当初予想値212百万円から196百万円となる見込みです。

その結果、当社全体といたしましては営業利益、経常利益につきましてはそれぞれ当初予想値200百万円の営業損失から165百万円の営業損失、200百万円の経常損失から165百万円の経常損失となる見込みです。当期純利益につきましては、上期計上の特別損失69百万円より当初予想値200百万円の当期純損失から235百万円の当期純損失となる見込みです。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上